

年間学習計画

教科名	国語	科目名	国語総合(古典)	単位数	4(2)	学年	1年
教科書	探求 国語総合(古典編) 桐原書店			副教材	古文の演習 桐原書店 漢文の演習 桐原書店 完全マスター古典文法 第一学習社 重要古文単語315 桐原書店		
科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・国語総合4単位のうち、2単位を実施する(2単位は現代文を実施)。 ・板書を中心とした講義形式で行う。古文単語は古語辞典を、文法事項(句法)の説明の際には副教材や補足のプリントも活用する。 ・おおよそ古文6, 漢文4の割合で実施する予定である。 						
考査問進度予定(単元名と単元の内容)						授業実施予定時数	
前期中間考査まで	古文編 古文入門 児のそら寝 検非違使忠明のこと 大江山 随筆と日記 徒然草 仁和寺にある法師 奥山に猫またといふもの					4月	5
						5月	8
						6月	5
前期期末考査まで	漢文編 漢文入門 訓読に親しむ 訓読に親しむ 再読文字 推敲 知音 塞翁馬 古文編 随筆と日記 土佐日記 門出 帰京					6月 (考査後)	2
						7月	5
						8月	4
						9月 (考査まで)	4
後期中間考査まで	漢文編 詩文 五言絶句 七言絶句 五言律詩 七言律詩 文章 古文編 随筆と日記 伊勢物語 芥川 東下り					9月 (考査後)	2
						10月	9
						11月	9
後期期末考査まで	古文編 奥の細道 旅こそ栖 那須野の少女 漢文編 史伝 鶏口牛後 鶏鳴狗盗 管鮑の交 臥薪嘗胆					12月	6
						1月	4
						2月	7
						3月 (考査まで)	1
評価の方法	定期考査(前期中間・期末、後期中間・期末)、課題提出の状況、授業態度等を総合的に判断し、前期、後期それぞれ終了毎に現代文の評価と合算して5段階評価をつける。ただし、前期は3をさらに3段階(3上・3・3下)に分ける。提出物については、古文の演習・漢文の演習(各年5回提出予定)や長期休業中の課題(文法プリント等)があり、努力の跡が見られるものには加点するが、提出状況が悪いものや解答の仕方が悪いものは減点となることもある。					総計	71時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	<ul style="list-style-type: none"> ・古文と漢文、それぞれ別々のノートを用意すること。 ・本文を読み、古語辞典等を利用して難解語を調べてから授業に臨むこと。また古語辞典は授業時に必ず、用意しておくこと。副教材の重要古語315も必要に応じて使用するの持参のこと。 ・古文文法事項や漢文句法については副教材(完全マスター古典文法、漢文必携)を用いて説明するので、必ず持参すること。 ・提出物の期限はしっかり守ること。期限に遅れた場合は、減点もしくは0点扱いになる場合がある。 ・教師の発問に対する応答や質問など、受身にならず積極的に授業に参加すること。 						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・国語総合4単位ではあるが、現代文2単位、古典2単位で授業を実施する。 ・評価については、現代文を50%、古典を50%とし、双方を合算して最終的に国語総合の評価を出す。 						

年間学習計画

教科名	国語	科目名	国語総合(現代文)	単位数	4(2)	学年	1年
教科書	探求 国語総合(現代文・表現) 桐原書店			副教材	現代文の演習グレード1 桐原書店 現代文キーワード500 桐原書店 一問一答日本文学史ノート 桐原書店 頻度順漢字2300PLUS 桐原書店		
科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・国語総合4単位のうち、2単位を実施する(2単位は古典を実施)。 ・板書を中心とした講義形式で行う。原則として本文の音読後、段落毎に読解するスタイルだが、随時補足プリントも使用しながら、演習や復習を行う。 ・教科書の目次の順に関わらず、評論を中心に授業を行う。 						
考査問進度予定(単元名と単元の内容)						授業実施予定時数	
前期中間考査まで	1 随想 青春と発見 謎の空白時代 立花 隆 ひらめきは、生き生きした心に宿る 黒田玲子					4月	5
	3 評論 化学と社会 サイボーグとクローン人間 山崎正和 経済の論理/環境の倫理 岩井克人					5月	8
						6月 (考査まで)	5
前期期末考査まで	5 評論 言語と理解 わかれうとする姿勢 鷲田清一					6月 (考査後)	2
	2 小説 羅生門 芥川龍之介					7月	5
	9 評論 自然と人間 「共生」とは何か? 鬼頭秀一					8月	4
						9月 (考査まで)	4
後期中間考査まで	5 評論 言葉の力 大岡 信					9月 (考査後)	2
	7 随想 戦争と平和 アリュージョン、老兵の夢と闇 星野道夫					10月	9
	6 小説 海の方の子 山田詠美					11月	9
後期期末考査まで	9 評論 自然と人間 殺戮しない類人猿 山極寿一					12月	6
	10 評論 歴史は「今・ここ・私」に向かってはいけない 内田 樹					1月	4
						2月	7
						3月 (考査まで)	1
評価の方法	定期考査(前期中間・期末、後期中間・期末)・休み明けテスト(夏休み明け・冬休み明け)・小テスト(前期中間以降SHR時実施)・提出物の状況・授業態度等を総合的に判断し、前期、後期それぞれ終了毎に、古典の評価と合算して5段階評定を付ける。ただし、前期は3をさらに3段階(3上・3・3下)に分ける。提出物については、現代文の演習(年5回提出予定)や長期休業中の課題(読書感想文等)があり、努力の跡が見られるものや優秀な作品には加点するが、提出状況が悪い場合は減点となることもある。					総計	71時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文専用のノートを用意すること。 ・本文を読み国語辞典等を利用して難解語を調べてから授業に臨むこと。また国語辞典は授業時に必ず用意すること。 ・副教材を使用するときは、前の授業で予告する。 ・提出物の期限はしっかり守ること。期限に遅れた場合は、減点もしくは0点扱いになる場合がある。 ・教師の発問に対する応答や質問など、受身にならず積極的に授業に参加すること。 						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・国語総合4単位ではあるが、現代文2単位、古典2単位で授業を実施する。 ・評価については、現代文を50%、古典を50%とし、双方を合算して最終的に国語総合としての評価を出す。 						

年間学習計画

教科名	国語	科目名	現代文	単位数	2単位	学年	2年
教科書	高等学校 現代文 (第一学習社)			副教材	新演習アチーブ2 (桐原)、国語便覧		
科目の目標	近代以降の様々な文章を通して、視野を広げ、筆者の表現を的確に読み取り、自分の考えをまとめる力を養う。						
授業の進め方	教科書の本文をベースに解説・発問し、問題演習等で学習内容の充実を図る。 単元毎に内容の要約・語句確認の演習を行う。						
考査間進度予定 (単元名と単元の内容)						授業実施予定時数	
前期中間考査まで	評論「手の変幻」 ・ 評論の基本的な読み方を習得する。 ・ 筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 小説『山月記』 ・ 小説の基本的な読み方を習得する。 ・ すぐれた短編小説の持つ緊密な構成や文体を読み味わう。 ・ 主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にいるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 小論文指導 ・ 小論文模試の事前学習					4月	4
						5月	7
						6月 (考査まで)	3
前期期末考査まで	評論「衣服という社会」 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ 自分と、衣服と流行という身近なものとのかかわり方を新たな視点から見つめ直すことによって、問題意識を養う。 小説『夏の花』 ・ 原爆についての理解を深め、見学旅行の広島見学に向けて、平和学習する。 小論文指導 ・ 小論文模試の事前学習					6月 (考査後)	5
						7月	5
						8月	4
						9月 (考査まで)	4
後期中間考査まで	評論「道具と文化」 ・ 動物の分析によって人間の特徴を照らし出していくおもしろさを味わう。 ・ 人間にとっての道具と文化、人間にとっての技術の意味と問題点について、考えを深める。 評論「個性神話のパラドックス」 ・ モノにあふれた現代の日本における、個人の生き方や価値観について、自分なりの考えを深める。					9月 (考査後)	4
						10月	5
						11月	7
後期期末考査まで	小説『こころ』 ・ 近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・ 小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・ 主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 評論「知る - 和語の文化誌」 ・ よく知られた言葉をもう一度見直すことにより、言葉が人間のあり方とどのように結びついているかについて、理解を深める。 ・ 言葉のおもしろさについて、興味・関心を深める。 小論文指導 ・ 小論文模試の事前学習					12月	6
						1月	4
						2月	6
						3月 (考査まで)	4
評価の方法	・ 「定期考査+春・夏・冬休み明けテスト」、「現代文キーワード」の小テスト、「読書感想文」、「問題集の提出状況」等を総合的に判断して評価する。					総計	68時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	・ 専用のノートを用意し、板書された事項だけでなく、解説の中で重要と思われる内容を強調するなど、工夫すること。 ・ ノートは提出できる状態でまとめておくこと。 ・ 忘れ物をしない。万が一忘れた場合は、必ず事前に申し出ること。 ・ 始業のチャイムまでに、学習に必要なものは全てそろえ、着席して授業態勢を整えること。						
備考							

年間学習計画

教科名	国語	科目名	古典	単位数	3単位	学年	2年
教科書	高等学校 古典 古文編(第一学習社) 高等学校 古典 漢文編(第一学習社)			副教材	新演習古文アチーブ2・漢文アチーブ2(桐原書店) 古典文法・古典文法準拠ノート(第一学習社) 漢文必携・漢文必携チェックノート(桐原書店)		
科目の目標	1年次に国語総合で習得した基礎力をもとに、古典を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、言語に対する感覚を伸ばす。						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 古語辞典、文法書、漢文必携等を用いた予習がなされていることを前提に授業を進める。 教科書の本文をベースに解説・発問し、問題演習等で学習内容の定着を図る。 						
	<p style="text-align: center;">考查間進度予定(単元名と単元の内容)</p>					<p style="text-align: center;">授業実施予定時数</p>	
前期 中間 考查 まで	古今著聞集	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 有名な和歌を含む説話を読んで、和歌や和歌説話の特質を考える。 				4月	7
	徒然草	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 				5月	11
	知音 蛇足	<ul style="list-style-type: none"> 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 故事成語の由来を正確に理解し、現代における故事成語の使い方を習得する。 				6月	2
前期 期末 考查 まで	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 				6月 (考查後)	9
	竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 助動詞、敬語について理解する。 				7月	7
	鼓腹撃壤	<ul style="list-style-type: none"> 少々長い文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 				8月	6
	漢詩～絶句・律詩	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確にとらえる。 漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。 				9月	3
後期 中間 考查 まで	源氏物語～若紫	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 敬語について理解する。 				9月 (考查後)	6
	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> 和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 和歌の修辞技巧や表現・語法上の特色を理解する。 				10月	9
	白水素女	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 				11月	11
	孟子～性善	<ul style="list-style-type: none"> 中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。 古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 					
後期 期末 考查 まで	大鏡～弓争い	<ul style="list-style-type: none"> 歴史物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 助動詞、敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。 				12月	10
	更級日記～源氏の五十余巻	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 助詞について理解する。 				1月	4
	項羽と劉邦～鴻門之会	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 歴史の中の人間について考える。 				2月	10
						3月	7
評価の方法	<p>「定期考查+春・夏・冬休み明けテスト」、「古文単語の小テスト」、「問題集の提出状況」等を総合的に判断して評価する。</p>					総計	102時間
授業を受けるにあたっての留意点など	<ul style="list-style-type: none"> 専用のノートを用意し、板書された事項だけでなく、解説の中で重要と思われる内容を強調するなど、工夫すること。 ノートは提出できる状態でまとめておくこと。 忘れ物をしない。万が一忘れた場合は、必ず事前に申し出ること。 始業のチャイムまでに、学習に必要なものは全てそろえ、着席して授業態勢を整えること。 						
備考							

年間学習計画

教科名	国語	科目名	古典	単位数	2単位	学 年	2年
教科書	高等学校 古典 古文編(第一学習社) 高等学校 古典 漢文編(第一学習社)			副教材	新演習古文アチーブ2・漢文アチーブ2(桐原書店) 古典文法・古典文法準拠ノート(第一学習社) 漢文必携・漢文必携チェックノート(桐原書店)		
科目の目標	1年次に国語総合で習得した基礎力をもとに、古典を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、言語に対する感覚を伸ばす。						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 古語辞典、文法書、漢文必携等を用いた予習がなされていることを前提に授業を進める。 教科書の本文をベースに解説・発問し、問題演習等で学習内容の定着を図る。 						
	考 査 問 進 度 予 定 (単 元 名 と 単 元 の 内 容)					授業実施予定時数	
前期中間 考査まで	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・有名な和歌を含む説話を読んで、和歌や和歌説話の特質を考える。					4月	4
	徒然草「あだし野の露消ゆるときなく」 ・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。					5月	7
	蛇足 ・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・故事成語の由来を正確に理解し、現代における故事成語の使い方を習得する。					6月 (考査まで)	3
前期期末 考査まで	方丈記「ゆく川の流れ」 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・無常観について理解し、日本文化の特質を考える。					6月 (考査後)	5
	竹取物語「かぐや姫の昇天」 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞、敬語について理解する。					7月	5
	漢詩～絶句・律詩 ・漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確にとらえる。 ・漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。					8月	4
						9月 (考査まで)	4
後期中間 考査まで	源氏物語～若紫 ・長編物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語について理解する。					9月 (考査後)	4
	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・和歌にこめられた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や表現・語法上の特色を理解する。					10月	5
	孟子～性善 ・中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。					11月	7
後期期末 考査まで	大鏡～弓争い ・歴史物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞、敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。					12月	6
	更級日記～源氏の五十余巻 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・助詞について理解する。					1月	4
	項羽と劉邦～鴻門之会 ・長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・歴史の中の人間について考える。					2月	6
						3月 (考査まで)	4
評価の方法	・「定期考査+春・夏・冬休み明けテスト」、「古文単語の小テスト」、「問題集の提出状況」等を総合的に判断して評価する。					総 計	68時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	<ul style="list-style-type: none"> 専用のノートを用意し、板書された事項だけでなく、解説の中で重要と思われる内容を強調するなど、工夫すること。 ノートは提出できる状態でまとめておくこと。 忘れ物をしない。万が一忘れた場合は、必ず事前に申し出ること。 始業のチャイムまでに、学習に必要なものは全てそろえ、着席して授業態勢を整えること。 						
備 考							

年間学習計画

教科名	国語	科目名	現代文	単位数	2単位	学年	3年
教科書	高等学校 現代文(第一学習社)		現文 017	副教材	オリジナルセンター試験国語実戦問題集(桐原) 現代文の演習グレード3(桐原)		
科目の目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。						
授業の進め方	読解・説明形式の授業と、進路を見据えた演習形式の授業を、概ね2対1の割合でおこなう。教科書第二部を中心に読み進めていく。						
考查間進度予定(単元名と単元の内容)						授業実施予定時数	
前期中間考查まで	誘惑する情報 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ 情報の特徴について考えを深める。 ・ 自分と情報との関係について、問題意識を持つ。 ホンモノのおカネの作り方 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ 貨幣のあり方の特徴について、理解を深める。 ・ 貨幣の成り立ちについて、興味関心を持つ。					4月	6
						5月	8
						6月 (考查まで)	2
前期期末考查まで	この村が日本で一番 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ グローバル化する世界の中で、人や社会はどうあるべきかについて考える。 ・ 自分にとっての「我らが世界」はどのようなものか、考える。 「共生」とは何か ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ 環境問題についての理解を深め、問題意識を持つ。 ・ 自然保護における「逆説的」な問題とはどういうものか、理解する。					6月 (考查後)	6
						7月	3
						8月	3
						9月 (考查まで)	3
後期中間考查まで	テクノロジーとのつきあい方 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ テクノロジーの発展に対して問題意識を持ち、どういう姿勢をとるべきか、考えを深める。 癒しとしての死の哲学 ・ 評論の読み方に習熟する。 ・ 人間に必ず訪れる死、また癌告知について問題意識を持ち、考えを深める。					9月 (考查後)	5
						10月	9
						11月	8
後期期末考查まで	舞 姫 ・ ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。 ・ 文語体の小説を読むことに慣れる。 ・ 近代の代表的な小説を読み、時代や人間のあり方について理解を深める。 ・ 文語体の小説のおもしろさを積極的に味わう。 ・ 登場人物を自分に引きつけて理解する。					12月	6
						1月	0
						2月	0
						3月 (考查まで)	0
評価の方法	a. 関心・意欲・態度 ...国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。 b. 話す・聞く能力 ...自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。 c. 書く能力 ...自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。 d. 読む能力 ...自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。 e. 知識・理解 ...表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。					総計	60時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	a 授業前には必ず教材を通読し、不明語句をノートに書き抜き、意味を調べておくこと。b教科書下段の「問」各単元末尾の、「学習」「表現の」「言葉の学習」に目を通しておくこと。c論理的な文章については、展開や要旨を的確にとらえ、小論文などに応用するという視点を常に持つこと。d文学的文章については、人物の心情・情景描写に注目し、あわせて自己の表現活動に応用するという視点を常に持つこと。e 授業に限らず、積極的に様々な文章に触れ思考力・想像力を養うという視点を常に持つこと。						
備考							

平成19年度

年間学習計画

教科名	国語	科目名	古典	単位数	2単位	学年	3年
教科書	高等学校 古典 古文編(第一学習社)		古典 021	副教材	完全マスター古典文法(第一) 漢文必携(桐原) 古文・漢文の演習 グレード3(桐原)		
科目の目標	古典としての古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。						
授業の進め方	主として古文分野の講読と、問題演習をおこなう。入試問題演習においては比較的長文の漢文を多く取り上げる。						
	<p style="text-align: center;"> <small> 考査間進度予定(単元名と単元の内容) </small> </p>					<p style="text-align: center;"> <small> 授業実施予定時数 </small> </p>	
前期中間考査まで	宇治拾遺物語 ・比較的長い説話を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞について理解する。 大鏡 ・歴史物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。					4月	7
						5月	8
						6月 (考査まで)	2
前期期末考査まで	源氏物語 ・長編物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文章の内容を意構成や展開に即して的確にとらえる。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 蜻蛉日記、紫式部日記 ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。					6月 (考査後)	6
						7月	3
						8月	3
						9月 (考査まで)	3
後期中間考査まで	無名草子 ・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・謙譲語「給ふ」について理解する。					9月 (考査後)	5
						10月	9
						11月	8
後期期末考査まで	入試問題演習					12月	6
						1月	0
						2月	0
						3月 (考査まで)	0
評価の方法	a. 関心・意欲・態度... 言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。 b. 読む能力... 古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。 c. 知識・理解... 古典の理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。以上の3点の観点から、授業態度、発問評価、指名音読、課題の提出、定期考査を総合して行う。					総計	60時間
授業を受けるにあたっての留意点など考査	a. 次の事項を必ず予習して授業にのぞむこと。音読 本文書写 書き下し文(漢文) 口語訳 b. 文法・句形・語彙に注目し、正確な理解を目指すこと。 c. 正確な理解に立って、文章に表現された人間観・社会観・自然観を理解すること。						

年間学習計画

教科名	国語	科目名	古典講読	単位数	2単位	学年	3年
教科書	高等学校 古典 漢文編(第一学習社)			古典 022	副教材	漢文必携(桐原) 国語総合マーク(尚文) 完全マスター古典文法(第一)	
科目の目標	古典としての漢文と古文を読むことによって生涯にわたって古典に親しむ態度を身につける。						
授業の進め方	主として漢文分野の講読と、入試問題演習をおこなう。問題演習においては比較的長文の古文を多く取り上げる。						
審査間進度予定(单元名と单元の内容)						授業実施予定時数	
前期中間審査まで	唐代の小説 ・限定・疑問・反語・受身・感嘆・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・登場人物の心情がどのように表現されているかを考える。 ・話の内容を理解し、小説を読み味わう。 儒家・道家・法家の思想 ・中国の主要な思想である儒家・道家・法家の主張の概要を理解する。 ・比較・疑問・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。					4月	7
						5月	8
						6月 (審査まで)	2
前期期末審査まで	史記の群像 ・長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・否定・限定・使役・疑問・反語・仮定・抑揚・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・歴史の中の人間について考える。					6月 (審査後)	6
						7月	3
						8月	3
						9月 (審査まで)	3
後期中間審査まで	漢詩の鑑賞 ・漢詩のさまざまな描写に接し、そここうたわわれているものを的確にとらえる。 ・古体詩について、近体詩と比較しながら理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・仮定・疑問・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。					9月 (審査後)	5
						10月	9
						11月	8
後期期末審査まで	入試問題演習					12月	6
						1月	0
						2月	0
						3月 (審査まで)	0
評価の方法	a. 関心・意欲・態度...言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。 b. 読む能力...古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。 c. 知識・理解...古典の理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。 以上3点の観点から、授業態度、発問評価、指名音読、課題の提出、定期審査を総合して行う。					総計	60時間
授業を受けるにあたっての留意点 など	a. 次の事項を必ず予習して授業にのぞむこと。音読 本文書写 書き下し文(漢文) 口語訳 b. 文法・句形・語彙に注目し、正確な理解を目指すこと。 c. 正確な理解に立って、文章に表現された人間観・社会観・自然観を理解すること。						
備考							